文教厚生常任委員会資料
2026 年(令和 8 年)9 月 24 日
福祉局あかし保健所保健総務課

報告第 20 号及び第 21 号関連資料

地方独立行政法人明石市立市民病院の経営状況（令和７年度決算）並びに令和７年度及び第４期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果の報告等について

1　目的

市が出資した法人である地方独立行政法人明石市立市民病院（以下「法人」という。）について、地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和7（2025）年度の経営状況を議会に報告しようとするものです。

また、業務実績について、地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を踏まえて評価した結果を、地方独立行政法人法（以下、「法」という）第 28 条第 5 項の規定に基づき議会に報告しようとするものです。

2　経営状況の報告（決算）

⑴ 総括

2025 年度は、補助金等収益、医業収益等が増額となったものの、物価高騰や人件費高騰など社会情勢の影響が著しく、材料費の支出抑制など経費の削減に努めましたが、経常収支は約 6 億円の赤字となりました。結果、資金残高は 39 億 6,900 万円に減少しました。

⑵ 収支決算（単位：百万円）

項　目		2024 年度 決算額	2025 年度 決算額	差引
収益	医業収益	7,740	7,818	+78
	運営費負担金収益	787	851	+64
	補助金等収益	29	224	+195
	計（上記以外を含む）	8,730	9,094	+364
費用	給与費	5,132	5,250	+118
	材料費	1,877	1,992	+115
	経費	1,381	1,475	+94
	計（上記以外を含む）	9,420	9,727	+307
当期純利益		−691	−634	+57
資金残高		4,685	3,969	−716

(3) 主な数値目標と実績

項目		2019 年度 実績値[*1]	2024 年度 実績値	2025 年度 目標値	2025 年度 実績	前年度との差 目標値との差
職員	常勤医師数	58 人	66 人	70 人	73 人	+7 人 +3 人
救急	救急車による搬入患者数	3,164 人	3,948 人	4,000 人	3,393 人	−555 人 −607 人
	救急車お断り率	19.8%	24.5%	20.0%	24.3%	+0.2 ポイント −4.3 ポイント
地域連携	紹介率	78.7%	88.0%	85.0%	89.8%	+1.8 ポイント +4.8 ポイント
	逆紹介率	83.6%	95.2%	90.0%	101.0%	+5.8 ポイント +11.0 ポイント
入院	一日平均入院患者数	259.2 人	246.5 人	265.0 人	230.8 人	−15.7 人 −34.2 人
	新入院患者数	7,377 人	6,482 人	7,500 人	6,303 人	−179 人 −1,197 人
	入院診療単価(急性期)	62,075 円	70,211 円	67,400 円	69,788 円	−423 円 +2,388 円
	入院診療単価 (回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟)	30,364 円	34,887 円	35,000 円	35,100 円	+213 円 +100 円
	急性期機能病棟稼働率	77.9%	73.5%	79.8%	69.9%	−3.6 ポイント −9.9 ポイント
	地域包括ケア病棟稼働率	80.6%	74.3%	86.0%	-	- -
	回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟稼働率	83.7%	93.0%	93.3%	89.4%	−3.6 ポイント −3.9 ポイント
外来	一日平均外来患者数	551.5 人	469.2 人	489.5 人	470.8 人	+1.6 人 −18.7 人
	外来診療単価	17,007 円	17,772 円	18,000 円	19,181 円	+1,409 円 +1,181 円
財務諸表	材料費対医業収益比率	24.0%	24.2%	23.0%	25.5%	−1.3 ポイント −2.5 ポイント
	経費対医業収益比率	15.8%	17.8%	16.2%	18.9%	−1.1 ポイント −2.7 ポイント
	人件費対医業収益比率	62.3%	66.3%	61.3%	67.1%	−0.8 ポイント −5.8 ポイント
	経常収支比率	101.7%	92.7%	100.2%	93.5%	+0.8 ポイント −6.7 ポイント
	医業収支比率	95.3%	89.6%	96.9%	88.9%	−0.7 ポイント −8.0 ポイント
	修正医業収支比率	92.5%	85.7%	92.9%	83.9%	−1.8 ポイント −9.0 ポイント
	医業収益	7,600 百万円	7,740 百万円	8,423 百万円	7,818 百万円	+78 百万円 −605 百万円
	入院収益	5,183 百万円	5,624 百万円	6,185 百万円	5,511 百万円	−113 百万円 −674 百万円
	外来収益	2,270 百万円	2026 百万円	2,137 百万円	2,185 百万円	+159 百万円 +48 百万円

3　2025 年度及び第 4 期中期目標期間(2023 年度～2026 年度)の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果

⑴ 評価の実施について

市は、法第 28 条の規定に基づき策定した「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価実施要領」により、法人の 2025 事業年度及び第４期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績について総合的な評価を実施しました。

評価にあたっては、地方独立行政法人法及び地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会条例に基づき、評価委員会に意見を求めました。

＜評価委員会　委員名簿＞

役 職	氏　名	職　名
委員長	石原　俊彦	関西学院大学副学長
副委員長	伊賀　文計	明石市医師会　顧問
委 員	筒井　秀作	市立伊丹病院臨床検査科　科主任部長、経営企画室部長
	工藤　美子	兵庫県立大学　看護学教授
	大谷　泰史	公認会計士

⑵ 2025 事業年度に係る業務実績の評価結果

評価結果 「中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおりに進んでいる」

＜判断理由＞

第4期中期目標・中期計画の3年目となった 2025 事業年度は、物価や人件費の高騰が続く中、公立病院を取り巻く経営環境は一層厳しさを増し、持続可能な医療提供体制の確保と経営改善の両立が求められる状況において、市が作成した「地方独立行政法人明石市立市民病院の再整備に係る基本方針」を踏まえながら、急性期医療を中核とした医療提供体制の強化に取り組んだ。

とりわけ、将来の医療需要や病院再整備を見据えた病床再編を実施するとともに、ロボティックアーム手術支援システムを活用した低侵襲手術や、がん診療体制の充実など、高度な総合的医療の推進を図った。

また、多職種によるチーム医療を推進するとともに、医療安全や感染防止対策、TQM活動などを継続的に実施し、医療の質の向上に取り組んだことも評価できる。

一方で、病床稼働率や救急搬送受入実績は目標を下回り、収入の確保や経費の抑制に努めたものの、物価や人件費の高騰などの影響により経常収支は3年連続の赤字となった。

これらを総合的に判断し、2025 事業年度の業務実績については、「中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおりに進んでいる」と評価するものである。

⑶ 第４期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績の評価結果

評価結果 「中期目標・中期計画の達成にむけて計画どおりに進んでいる」

＜判断理由＞

第4期中期目標期間においては、急性期医療を担う市民病院として、地域に求められる医療提供体制の充実を図るとともに、高度な総合的医療の推進や地域医療機関等との連携強化、患者本位の医療サービスの提供などに継続して取り組み、地域医療を支える中核病院としての役割を着実に果たしている。また、多職種協働による医療の質の向上、人材マネジメントの充実、ガバナンス及び経営管理機能の強化など、法人運営基盤の整備についても積極的に推進されている。

一方で、物価や人件費の高騰など厳しい経営環境の影響もあり、経常収支の改善には至らず、財務面にはなお課題が認められるものの、経営改善に向けた取組は継続して進められている。

以上のことから第4期中期目標期間において、計画どおり進んでいると判断するものである。

４　中期目標期間の終了時の検討

法第 30 条第１項により、市長は中期目標終了時までに法人業務の継続または組織の存続の必要性その他その業務及び組織の全般にわたる検討を行うこととされており、同条第２項に基づく評価委員会からの意見と併せ検討を行いました。

その結果、法人は第4期中期目標期間においても、急性期医療を中心として、地域医療を支える中核病院としての役割を着実に果たすとともに、持続可能な病院運営に向けた取組についても積極的に推進していることから、法人の業務を地方独立行政法人の形態で継続させることが適当であると判断しています。